

山形県石油セミナー

機器メーカーがアピール

をスマートセンサー付のキャップに変えることで、顧客ごとの灯油の残量を可視化できるよう

石油連盟が主催する山形県石油セミナーで石油暖房機のメ

リットと石油給湯器について紹介された。従来型の石油給湯器を高効率石油給湯器エコフィールに変えることで省エネ効率とともに灯油の

節約、CO₂排出量の削減につながることを説明された。会場にはコロナやダイニチ工業など7社の石油機器メーカーが

工業会はセミナー内で山形県は昨年石油給湯器の出荷台数がガス給湯器を上回り、石油給湯器の大きな市場であること



出展ブースの様子

者に自社の製品のアピールをした。日本ガス石油機器

展示。室内機と室外機それぞれが他社製品と互換性があり「生産終了した富士通製品の室内機もしくは室外機が故障しても壊れた方のみ交換ができるのが強み」と述べた。ゼロस्पекはセンサーにより灯油タンクの残量を可視化できるスマートセンサーを出展した。灯油タンクのキャップ